

大型ブロックの積み上げと同時に完成する道路拡幅工法 ワイドウォール工法

NETIS

No.SK-050012-A

掲載期間／2014年10月まで

第11回国土技術開発賞 地域貢献技術賞受賞

特長

道路の1.5車線化等に最適です。

1.5車線の道路整備とは、交通量の増加が想定できない山間部などの1車線道路に、部分的に待避所等を設けて2車線と同じ効果を得る道路整備のことを指します。このような整備を行うことによって経費削減を図るものであり、現在各都道府県において検討と実行がなされています。

ブロックを積み上げると同時に道路拡幅が完成します。

ワイドウォールブロックを4段積上げることにより、拡幅が可能です。また、宅地造成に使用すれば用地面積が広がります。※ワイドウォールブロックの積上げ段数は、条件に合わせて1段積～4段積まで対応可能です。

地山傾斜のあるところでは、従来工法よりブロック高が小さくて済み、経済的です。

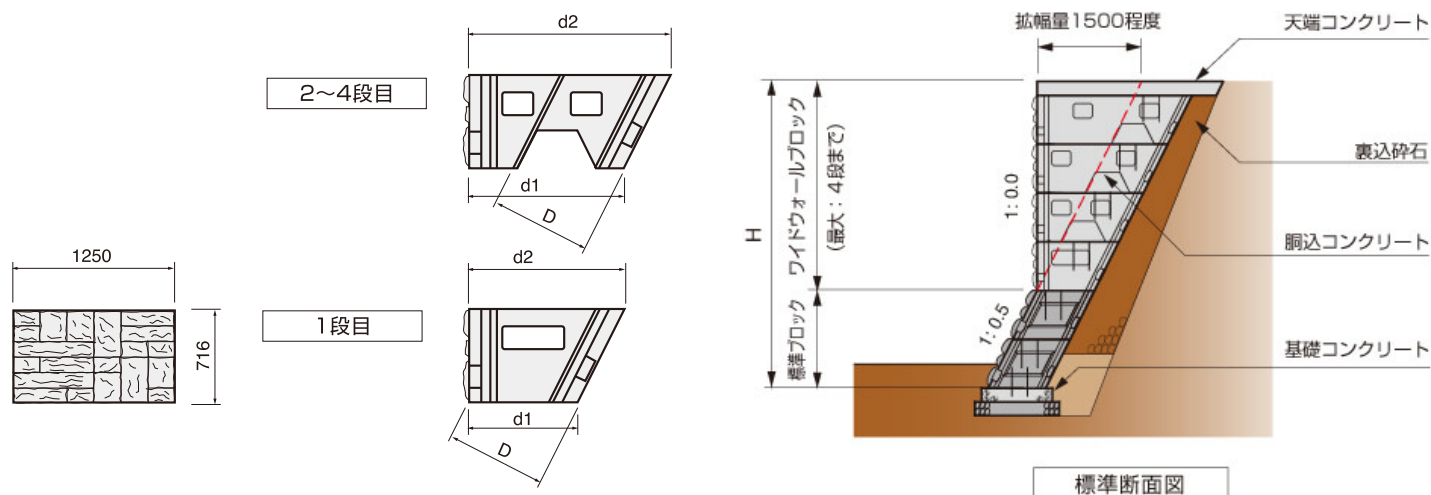
地山掘削量が他工法と比べて大幅に減少でき、経済的です。



ブロック下段部には従来製品の大型積みブロックを使用します。



製品図



呼び名		寸 法 (mm)			胴込量 仕切無 (m ³)	胴込量 仕切有 (m ³)	参考質量 (kg)
		D	d1	d2			
750	No.1	750	839	1196	0.558	0.558	856
	No.2		1196	1554	0.855	0.665	907
	No.3		1554	1912	1.123	0.550	1029
	No.4		1912	2270	1.391	0.550	1150
1000	No.1	1000	1118	1476	0.768	0.768	950
	No.2		1476	1834	1.065	0.875	1002
	No.3		1834	2191	1.333	0.759	1123
	No.4		2191	2549	1.601	0.759	1244

施工例

